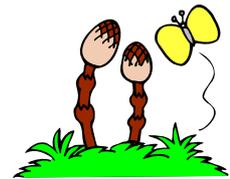


BPT(バイオマスプロジェクトチーム)だより No.19



http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm

平成18年5月31日(水)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況について

○バイオマス利活用実用化促進事業について (第1回木質バイオマス新用途開発プロジェクト推進会議の開催)

木質バイオマス新用途開発の共同研究に取り組む「木質バイオマス新用途開発プロジェクト」(研究総括:千葉大学工学部立本英機教授、事務局:県森林研究センター)の推進会議が開催されました。(5月26日・千葉大学工学部松韻会館)

同推進会議では、平成17年度共同研究成果の報告と18年度新用途開発の共同研究体制及び研究計画の推進について意見交換が行われました。



- 炭化試験研究成果
- 木炭特性の分析結果、評価方法
- 木炭新用途開発研究成果・計画ほか
(農林系、工業系用途開発研究)

2. 国・大学・研究機関等との連携について

○(独)産業技術総合研究所「地域施策に対するLCAの適用手法の研究開発」公表

LCA(Life Cycle Assessment:ライフサイクルアセスメント)とは、製品の原料の採取、加工、流通、再資源化などの全ての過程において環境影響を計測し、評価する手法として注目されています。

(独)産業技術総合研究所では、地方自治体の施策実施に伴う環境影響を定量的に評価する手法の具体化を目的として、千葉県、岩手県、三重県の地域施策を対象とした研究開発を平成15年から3ヵ年をかけて実施しました。

千葉県バイオマスプロジェクトチームもこの事業に協力し、県内バイオマス資源量等のデータ収集や意見交換会等を行い、この度平成17年度の研究成果がまとまり、(独)新エネ

ルギー・産業技術総合開発機構のホームページより公表されます。

千葉県をケーススタディとした主な調査・検討項目

- バイオマスタウン構想案の検討
- バイオマス再資源化技術に関するLCAの実施
- 生ゴミ再資源化技術の導入可能性検討
- 家畜ふん尿適正処理システムの検討

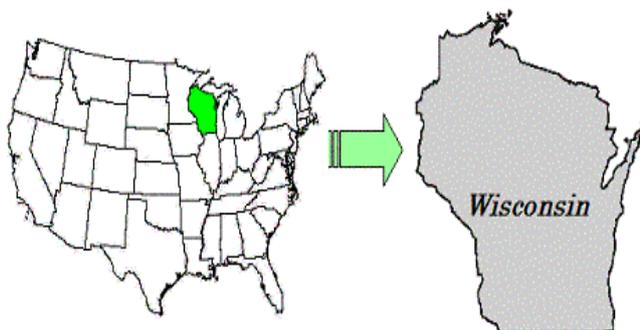
研究概要は産総研LCA研究センターホームページをご覧ください。

(<http://unit.aist.go.jp/lca-center/ci/activity/project/region/index.html>)

3. 普及啓発活動について

○Wisconsin Festival (ウィスコンシン祭り)

5月27日、千葉市内のホテルにて千葉ウィスコンシン協会主催の「Wisconsin Festival」が開催されました。バイオマスプロジェクトチームもブースを出展し、バイオマスプラスチック製品の展示を行いました。



千葉県は、平成2年にアメリカ合衆国ウィスコンシン州と姉妹県州の提携を行

い、文化、教育の分野を中心に相互に使節団を派遣する等、友好親善を深めており、これらの交流を、学術、経済など様々な分野に広げ、県民主体の姉妹交流を推進するため、平成16年5月に民間姉妹交流組織「千葉ウィスコンシン協会」が設立されています。

バイオマスプロジェクトチームは、昨年ウィスコンシン州に職員を派遣するなどバイオマス分野で相互交流があります。



バイオマスプロジェクトチームの展示



バイオマスプラスチック製品の説明風景